

NPO法人友愛アカデミー

事業名	第3回 日・韓学生フォーラム			
実施期間	2013年8月12日(月曜日)			
場 所	広島国際会議場・広島市内			
参加者	外国人留学生	地域住民・企業等	その他	合計
	16名	名	24名	40名

＜実施内容＞

平和教材を通して、広島の実態、影響などを知り平和とはなにか？平和な世界を作るには何をするのか？などを考える。また、主人公の生き方も学ぶようにする。フォーラムでは、教材に詳しい人を招き、平和教材に出てくる場面を一緒に現地体験させる。もちろん学生が発表する機会も設けた。事前に教材を読み、フォーラムへの意欲と日本語の理解を図った。



原爆・平和についての学習する



平和教材の講師が教材に出てくる場面を説明する

平和教材の作者の実家跡で原爆投下時の様子を説明する



会場に帰ってから、再度平和について討論した

＜参加者からのコメント＞

Aさん(韓国)

フォーラムをする前までは平和についてあまり考えたことがなかった。生まれながら自然と平和に暮らしてきたから。フォーラムの準備やフォーラムでの体験で平和の重要さに気づいた。私が考える平和とは国の間に争いがなく、穏やかに暮らすことができる世界だと思う。戦争こそ平和の最大の敵だと思う。戦争をなくするためには、私の周りから平和にしなければいけないと思う。そんな小さなことから始めるといつかはみんなが幸せな世の中に住むことができる未来が来ると思う。

(アンケートは無記名で取りましたが、その中から、韓国人学生の記入したものをピックアップしました。)

Bさん(韓国)

平和教材を読んで、直接本に出た場所に行って原爆を受けた残骸を見たり、道を歩いたりしながら当時のことを体験できたのはよかった。今日もすごく暑く、教材の場面を想像しながら歩いていたらなんだか原爆が落ちた当時の状況にいる気がした。広島に来て、このような体験と歴史を知るようになって、これまでの私の認識が少し変わったし、今後もっと広島や日本について調べたり勉強したりしたいと思いました。

(アンケートは無記名で取りましたが、その中から、韓国人学生の記入したものをピックアップしました。)